

芸術工学実習 D4 後半 2025「造形表現」課題概要

(担当 小俣英彦)

■テーマ：「 Re 芸工 あるいは 芸工占拠せよ 」

■目的・目標：

D4「造形表現」の実習では、芸術について考えます。芸術実践として作品制作を行い、その実践を通して芸術について、その意味や価値について考察し、理解を深めることを目的とします。

マルセル・デュシャン以降の現代アートに焦点を当て、現代アートについて考え、作品制作を行います。具体的には、もの派、インスタレーション、ランドアートなどを参照し、日常的に接している北千種キャンパスの既存の空間を芸術実践により変容させることを体験と実践を通して考えます。

■スケジュール

- 第1週 (11/20) 各課題ガイダンス (事前学習告知あり)
- 第2週 (11/27) 課題1：導入、制作体験 (GW) 空間変容
- 第3週 (12/4) 課題2：作品制作1 (構想と準備)
- 第4週 (12/11) 課題2：作品制作2 (中間プレゼンテーション)
- 第5週 (12/18) 課題3：作品制作3 (制作、検証)
- 第6週 (1/8) 課題3：作品制作2 (制作、検証)
- 第7週 (1/15) 課題3：作品制作3 (展示、記録、評価)、発表用資料作成
- 第8週 (1/22) まとめ 発表

■評価方法

実習の目的・目標についての理解度を、提出作品、グループワーク、ディスカッション等における積極的な発言、課題への取組姿勢・授業態度をもとに総合的に評価します。

■その他

※準備、リサーチ、制作作業等、授業時間内で収まらない場合は各自時間外で対応が必要になります。

※制作に関わる材料、道具は各自で購入、準備が必要となる場合があります。(道具は一部貸出し可)

(次ページに続く)

※以下のリンク先の記事を読み事前学習を行なった上で受講することを履修条件とします。

○ランドアート



○もの派



○インスタレーション



○サイトスペシフィック アート



○ロバート・スミッソン、『スパイラル・ジェティ』(Spiral Jetty)

○クリスト & ジャンヌ＝クロード

○ウォルター・デ・マリア『マイル・ロング・ドローイング』『ライトニング・フィールド』

○アンディー・ゴールズワージー

○ジェームズ・タレル

○関根伸夫、《位相-大地》

○宮島達男

○川俣正

○塩田千春 →各自で検索